

ミドルに聞く「働き方改革」調査

企業が「働き方改革」に取り組むことで、職場への満足度が上がったミドルは3割。
 「気持ちの余裕がなくなった」「生産性が低下した」との声も。

— 『ミドルの転職』 ユーザーアンケート集計結果 —

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営するミドル世代のための転職サイト『ミドルの転職』（<https://mid-tenshoku.com/>）上で、サイトを利用している35歳以上のユーザーを対象に「働き方改革」についてアンケートを行ない、407名から回答を得ました。以下、概要をご報告します。

調査結果 概要

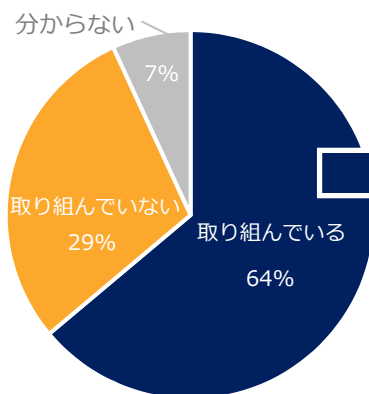
- ★ 64%のミドルは、「勤務先企業が『働き方改革』に取り組んでいる」と回答。そのうち「取り組みが積極的に促進されている」という回答は36%。
- ★ ミドルの勤務先企業が実施する「働き方改革」の取り組みは、「労働時間の削減」「休暇取得の促進」「業務フローの見直し」。
- ★ 勤務先企業が「働き方改革」に取り組んだことで、職場への満足度が上がったミドルは30%。
- ★ ミドルが考える「働き方改革」でもっとも解決すべき課題は「長時間労働の改善」。

■ 調査結果詳細

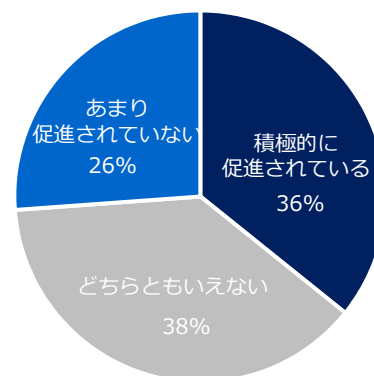
1：64%のミドルは、「勤務先企業が『働き方改革』に取り組んでいる」と回答。そのうち「取り組みが積極的に促進されている」という回答は36%。（図1、図2）

「あなたの会社では『働き方改革』に取り組んでいますか？」と伺ったところ、「取り組んでいる」と回答した方は64%でした。そのうち、取り組みの促進度を伺うと、「積極的に促進されている」と回答した方は36%でした。

【図1】 あなたの会社では『働き方改革』に取り組んでいますか？



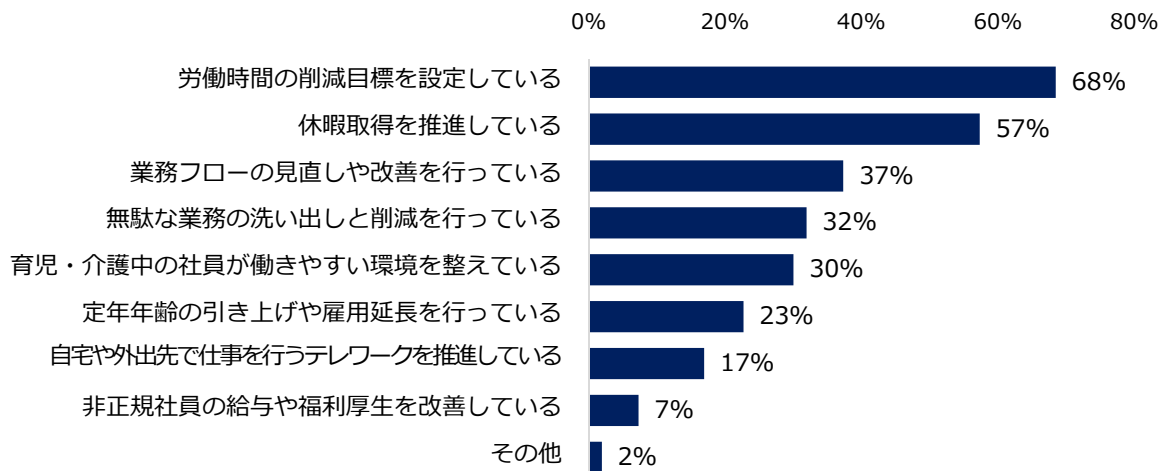
【図2】 「取り組んでいる」と回答した方に伺います。取り組みはどの程度促進されていますか？



2：ミドルの勤務先企業が実施する「働き方改革」の取り組みは、「労働時間の削減」「休暇取得の促進」「業務フローの見直し」。(図3)

「在籍企業が働き方改革に取り組んでいる」と回答した方に、具体的な取り組みを伺ってみました。第1位は「労働時間の削減目標を設定している」(68%)、第2位は「休暇取得を推進している」(57%)、第3位は「業務フローの見直しや改善を行っている」(37%)でした。

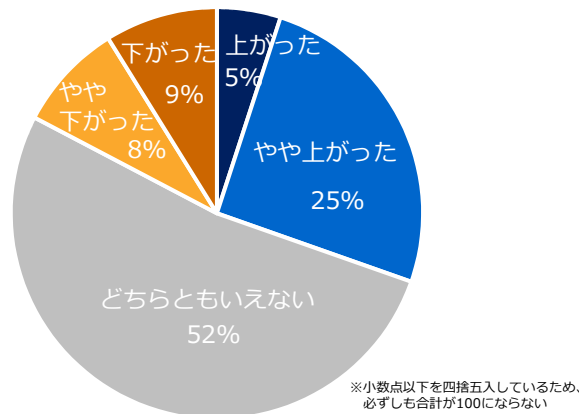
【図3】「勤務先企業が働き方改革に取り組んでいる」と回答した方に伺います。勤務先企業は『働き方改革』として、具体的にどのようなことに取り組んでいますか？
 ※複数回答可



3：勤務先企業が「働き方改革」に取り組んだことで、職場への満足度が上がったミドルは30%。(図4～図6)

「勤務先企業が働き方改革に取り組んでいる」と回答した方に、『働き方改革』の取り組みが始まったことによる、職場に対する満足度の変化を伺いました。30%の方が「上がった(上がった：5%、やや上がった25%)」と回答。半数の52%の方が「どちらともいえない」と回答し、企業の働き方改革により職場への満足度が変化したミドルは少ないことが伺えます。

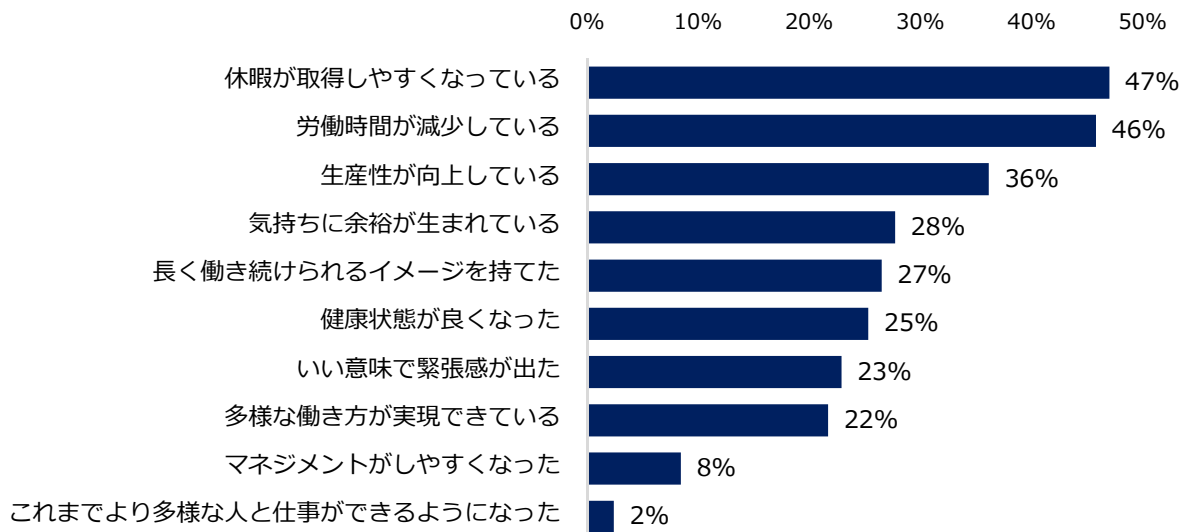
【図4】「勤務先企業が働き方改革に取り組んでいる」と回答した方に伺います。取り組みが始まったことで、職場に対する満足度に変化はありましたか？



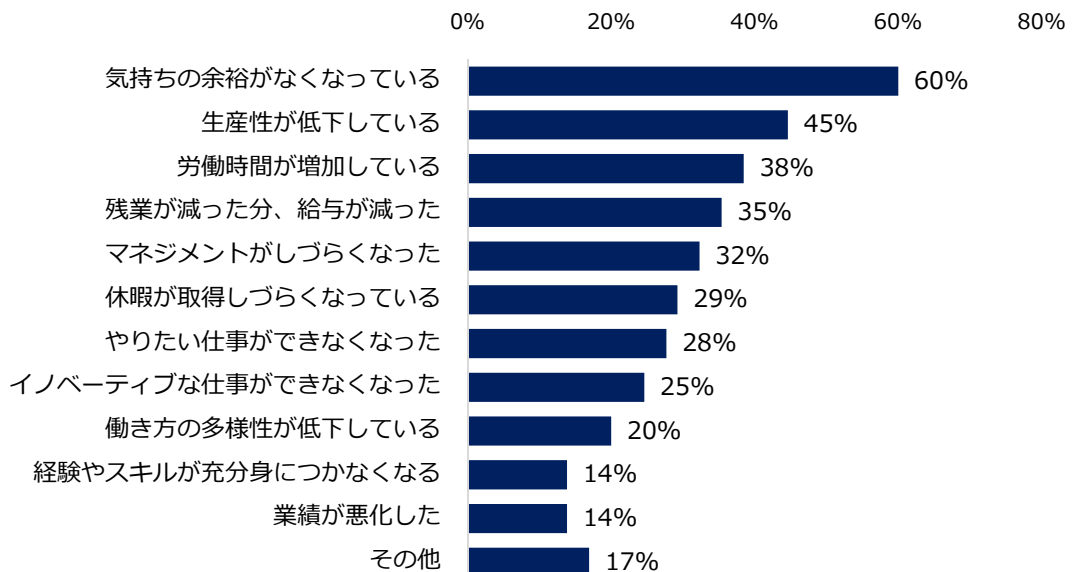
「職場への満足度が上がった」と回答した方に理由を伺ったところ、もっとも多かった回答は「休暇が取りやすくなった」（47%）、次いで「労働時間が減少している」（46%）でした。休暇や労働時間の変化が満足度アップに繋がっているようです。

一方、「職場への満足度が下がった」と回答した方に理由を伺ったところ、もっとも多かった回答は「気持ちの余裕がなくなっている」（60%）、次いで「生産性が低下している」（45%）でした。

【図5】「職場への満足度が上がった」と回答した方へ伺います。その理由を教えてください。
※複数回答可



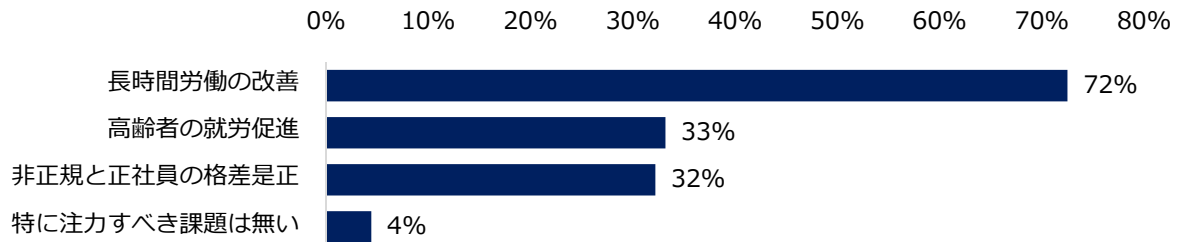
【図6】「職場への満足度が下がった」と回答した方へ伺います。その理由を教えてください。
※複数回答可



3：ミドルが考える「働き方改革」でもっとも解決すべき課題は「長時間労働の改善」。(図7)

「『働き方改革』の中で注力して解決すべきだと考える課題は何ですか？」と伺ったところ、もっとも多かった回答は「長時間労働の改善」(72%)でした。ミドルから寄せられた具体的な声も紹介します。

【図7】『働き方改革』の中で注力して解決すべきだと考える課題は何ですか？ ※複数回答可



「長時間労働の改善」と回答したミドルのコメント

- 効率の悪い仕事、省略できる仕事があるはずなのにその精査をせず、無駄な労働時間がある。(36歳)
- 長時間労働する事が、美德であるかの様に語るマネジメントが多い。(42歳)
- 会社の中での仕事時間は確かに減ったが、その分家でやる仕事時間が増えた。(48歳)
- 残業して長く働く人＝頑張っているという古い評価の見直しが進んでいない。効率良く、業務量をこなして残業している人と効率、生産性が悪く残業している人を作業時間で評価することの見直しが必要。(51歳)
- 長時間働くことを厭わない＝残業代ありきで生活基盤を築いており、働き方改革により労働生産性が向上すれば、収入源がなくなり、と考えている社員のモラルをどう変えていくかが大きな課題。(54歳)

ミドル層専用の転職求人サイト 『ミドルの転職』



経験やテクニカルスキルに加え、よりヒューマンスキルを重視したマッチングが求められる30代・40代の転職を、国内最大級5万件以上のミドル向け求人と、オンラインビデオ面談機能などを搭載した機能的な管理画面でサポートします。転職活動自体の生産性を向上させることで、心的・物理的な負担を軽減。再就職の決定までに時間がかかりがちなミドル層の転職を、より円滑なものとなるよう支援します。

<https://mid-tenshoku.com/>

【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『ミドルの転職』（<https://mid-tenshoku.com/>）を利用する35歳以上のユーザー
- 有効回答数：407名
- 調査期間：2017年9月29日～10月31日

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本、松田

<http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
 TEL：03-3342-6590 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com